

環境に係る情報協議会 国営総合農地防災事業 産土地区

1. 事業の概要

◆事業の目的

本地区は、泥炭土に起因する地盤沈下の進行により、農業用排水路及び農用地の機能低下が生じており、降雨時には湛水、過湿被害等が発生している。

このため、本事業において農業用排水路の改修並びに、暗渠排水及び整地を行い、それらの機能を回復することにより、農業経営の安定化を図り、併せて、国土保全に資することを目的とするものである。

◆受益面積 2,400ha

◆主要工事計画（案）・排水路12条（17.6km）
・A = 2,400ha（暗渠排水、整地）

2. 天塩町の環境に対する考え方

（「天塩町田園環境整備マスタープラン」より）

◆農村環境の現状と課題

《 現 状 》

本町の基幹産業である農業は、気象・土地条件・自然生態系等を活かした物質循環を基本とするもので、他の産業と比較して自然からの恩恵を一番受けている。

《 課 題 》

都市化や産業活動の進展及び生活様式の多様化により、河川の自然環境が消失し、環境に負荷をかけている現状にある。

◆環境保全の基本的考え方

- 地区内の排水路には、エゾトミヨ、エゾホトケドジョウ等の魚類やミクリ等の多種多様な動植物が生息・生育する自然豊かな環境を有している。
- 本地区の排水路は天塩川へと流下しており、連続した水辺環境ネットワークが形成されていることから、水辺に生息・生育する動植物の生息環境の保全を行う。

3. 環境配慮のための環境調査

◆基本方針

地域に生息する動植物は、「河川水辺の国勢調査」の調査結果から、多くの動植物の生息が確認されているが、本地区内での詳細調査は行われていない。

このため、現地確認のため、各動植物の生息調査及び水質調査を実施する。

◆環境調査内容

- 調査対象 哺乳類、鳥類、魚類、底生動物、両生類、は虫類
昆虫類、植物、水質
- 調査方法 哺乳類：目撃法
鳥類：定点調査
魚類：採捕調査法
底生動物：定性採集調査
両生類・は虫類：目撃法
昆虫類：任意採集法、ライトトラップ法
ベイトトラップ法
植物：植物相調査
水質：SS、濁度